

Y17b 科学コミュニケーションの新たな可能性を探る試み～天文学と茶道～

浅見奈緒子 (日本教育大学院大学), 高梨直紘 (東京大学)

近年、科学コミュニケーション分野ではさまざまな対話活動が行われているが、その中でも、距離が遠いように思われる複数の視点を取り入れた企画が注目を集めている (e.g. 「子育てと天文学」「芸術と天文学」)。これらの異分野のコラボレーションは、互いの分野の理解を深め、両者の新たな関係を創造していると言える。

今回、私たちはこのふたつの視点の組み合わせとして「天文学」と「茶道」を選択し、それに基づいて実際にイベントを2回開催した。このイベントに合わせて行ったアンケート結果を元に、天文学と茶道に対して参加者が持っていたイメージがそれぞれどのように変化したか、人間の文化と自然との深い関わりを感じられたか等の分析を行ったので、その結果を報告する。

また、このような異分野のコラボレーション企画は、企画者-参加者間の関係の変化や、参加者らの自然科学・文化への興味関心への喚起などに対して、ポジティブな影響を与えていると考えている。天文学普及の観点からその意義を明らかにし、その評価方法についても、議論したい。